



「まわれどもまわらざる芯あり」

クリスマスが過ぎると、一気に町の雰囲気はお正月へと様変わりする。ふと立ち寄った店のショーウィンドウには色鮮やかな佐世保独楽が飾ってあった。そういえば、幼いころ兄と佐世保独楽で遊んだなあと思いだした。

お土産だったのか、縁起物の飾りとしていただいたのか定かではないが、我が家の居間に置かれたこの独楽は、送り主の意図に反し、私たち兄妹の格好の遊び道具となった。しかし縦に長いドングリのようなこの独楽はそう簡単には回ってくれない。糸の巻き方、投げる角度、紐を引くタイミング・・・試行錯誤の日々であった。けれど、いったんコツをつかんでさえしまえば簡単だ。少々乱暴に投げても見事に回る。多少地面が凸凹していても、斜めになっていようが、倒れることなくうまくバランスをとって回り続ける。子供心にもおもしろく、不思議でもあった。いい独楽は、芯がしっかりと重心を貫いているため、回転軸がぶれず安定して長く回るといふ。私が遊んだ独楽もいい独楽だったのだろう。

来年度の大学入試から「大学入試共通テスト」が導入される。そもそも「大学入試共通テスト」は「知識偏重」からの脱却と「**思考力、判断力、表現力を重視する**」という目的のもと改定された。しかし、目玉の「英語外部試験の活用」について延期が決定され、もうひとつの目玉である「**国・数の記述式問題**」についても、次年度実施は見送りになった。状況が二転三転し、生徒や保護者、教員が戸惑う姿が目に見えらる。

ここまで書いて、ふと考えた。「**思考力、判断力、表現力を備えた人物**」とはなんぞやと。そもそも正しく思考し判断するためには、**正確で幅広い知識・教養が必要だ**。ネットや SNS に溢れる根拠のない情報に踊らされては思考も判断も間違っただけになる。また、正しい知識や情報を持っていても、その思考や判断、表現が利己的なもの、独善的なものであれば意味はない。つまり、**他者を思いやる心や道徳的な品性を備えている必要がある**。そして、最後に、**自分の判断を実現するために行動できることが重要だ**。つまり、『**知性と品性を備え、自主的に考え行動できる人物**』となる。

ん・・・なんだ。「**知 徳 体**」・・・昔から言われていることじゃないか。

社会が変化していく中で、要求される内容や必要な知識、技能は当然変化していく。もちろんそれに合わせて、学校の教育の中身も変化していく必要がある。けれど、人が人として成長するうえで大切なこと、社会において必要とされるものの本質は変わらない。

「**知性と品性と行動力**」。これらの芯が自身の中心をしっかりと貫いてさえいれば、この先、どんな環境に置かれても、ブレたり倒れたりすることなく自分らしく生き抜いていけるはずだ。大きく社会が変化する今だからこそ、周囲に惑わされることなくしっかりと本質を追求し、大切にしたい。「まわれどもまわらざる芯あり」だ。

教頭 本田 美緒子

進路状況速報 ～進路指導部より～

今年の3年生は、就職希望者15名、進学希望者17名とほぼ例年と変わらない状況です。就職希望者の内訳は、県内希望者8名（島内3名、島外5名）、県外希望者6名（関東3名、関西1名、九州2名）、公務員1名で、一般就職希望者14名はすべて内定しました。現在は、自動車学校通学や社会人としての準備をしているところです。卒業までの約2ヶ月間有意義に過ごしてほしいものです。進学希望者については現時点で、四年制大学希望者等が4名、専門学校希望者が8名で、計12名合格しました。これから、個別試験に臨む生徒は、来る1月のセンター試験に向けて、早朝から放課後遅くまで残って学習しています。受験会場も長崎国際大学と決まりました。皆様の応援をお願いします。

冬休み中の生活について

～生徒指導部～

冬休みは、年末・年始の諸行事を通して家族や地域の方々とのふれあいを深める絶好の機会ですが、生活のリズムが乱れやすくなる時期です。病気や事故等のない充実した冬休みにしてください。次にあげる項目については、特に注意をお願いします。

- ①午後8時以降の外出はしないこと。（初詣等、年末年始の特別な催し物については、保護者同伴で）
- ②外泊は親しい間でも絶対にしないこと。
- ③携帯電話やスマートフォンの使用については、LINEなどを通して、ネット上の被害者にも加害者にもならないよう、その取り扱いとマナーに細心の注意を払うこと。午後9時以降は個人の時間です。
- ④自転車に乗るときは交通ルールを守り、交通規定（並列走行、無灯火、スピードの出し過ぎ等の禁止）を遵守すること。
- ⑤無届けアルバイトを絶対にしないこと。

12月～1月の行事予定

○2019年12月○

25(水)～27(金) 冬季補習(3年)・強化学習会(1,2年)

○2020年1月○

- 8(水) 始業式、大掃除、容儀検査、学年集会、
⑤・⑥・⑦授業、センター試験激励会(3年)
- 9(木) 百人一首大会(1・2年生)
- 18(土)19(日) 大学入試センター試験
- 18(土) 進研総合学力テスト(1,2年)・就公模試(2年)
- 19(日) 全商情報処理実務検定
- 26(日) 全商簿記実務検定
- 24(金)～30(木): 学年末考査(3年)
- 27(月)～30(木): 修学旅行(2年)
- 28(火) 消費者支援講座(1年)
- 31(木) テスト返却・学年集会・容儀検査(3年)

2学期を振り返って～各学年主任より

入学から9ヶ月が過ぎましたが、皆さんは精神的・肉体的に成長してきたでしょうか。残念ながら私はこの問いに対して「いいえ」と答えねばなりません。いくつか例を挙げると、制服の着方はどうか、集合時間は守れているか、SNS等で誹謗や中傷をしていないか等です。これらは全て、相手の立場に立って考えることができれば解消できるものです。残念ながら皆さんの中には自分の思いのまま自由気ままに行動をする人がいます。学校において行動をするときに「私のこの行動はいいのだろうか」と一歩立ち止まって考えてください。これができるようになると学校生活が楽しくなりますよ。

また、進路希望においては進路先を具体的に〇〇大学とか〇〇企業、公務員など決めることが成功への近道です。もう進路先を決めて勉強を始めている人もいます。まだ決めていない人は、今年度中に決めて、努力を始めることが大切です。
(1学年主任 金子禎宏)

「**真実の出会い**」は同じ人への新たな発見です」

大学の図書館で暇を持て余していた私が、何気なく開いた雑誌に書かれていたこの見出し。その言葉が無性に心に留まり、持っていたノートの切れ端にメモをとりました。そのメモはすぐに無くしてしまいましたが、この言葉だけは私の心の中にとどまり、いつまでもたっても鮮明で、決して消えることはありません。人の心は多面体。そして、とても複雑です。これまで生きてきて、誰かの思いがけない一面に出会うこともあれば、自分自身の意外な可能性に気づくことも多々ありました。自分では「知っているつもり」、そんな相手への新たな発見こそが、本当の意味での「出会い」なのだと、この言葉は教えてくれます。

「苦手だな」と思う相手。自分には合わない人間だと思っているのなら、そう決めつけるのは早くはありませんか。あなたが見ていない別の一面を、見ようともしていないのに。「自分には無理だ」、そうやってたくさんの方のことを諦めてはいませんか。あなたには、あなた自身さえもまだ知らない可能性が、たくさん眠っているはずなのに。高校生活も折り返し地点を過ぎました。誰かと、そしてあなた自身との「真実の出会い」は、きっとこれからです！
(2学年主任 山口祥子)

2学期は、9月の体育大会に始まり、就職試験・進学の推薦試験と、君たちが主役となって表舞台に出る期間であった。リーダーシップを十分に発揮できただろうか？就職・進学に向け、悔いのない取り組みができただろうか？結果だけで判断するのではなく、これまでの自分の取り組みを冷静に見つめ直すことが大事。

進路が決定した人もいれば、これからセンター試験に臨む人もいます。「**良き友は、励ます人ではなく、同行する人である。**」友のために、それぞれが最後まで自分の目の前のやるべきことを頑張ってやっていこう。その姿が、友への無言の励ましになる。

就職することが人生の目標ではないはず。大学に合格することが最終目標ではないはず。そして高校は君たちの通過点に過ぎない。その後の長い自分の人生をしっかりと見つめてほしい。(3学年主任 幾世晋二)